

土地改良事業変更計画書

(県営経営体育成基盤整備事業)

地区名 入江善積地区

事業主体 滋賀県

目 次

第1章	目的	1	第6章	附帯工事計画	34
第2章	地域及び地積	1	第7章	工事着手及び完了の予定時期	34
第1節	地域	1	第8章	環境との調和への配慮	34
第2節	地積	1	第9章	換地計画の概要	34
第3章	現況	2	第10章	事業費の総額及び内訳	35
第1節	気象及び海象	2	第11章	効用	35
第2節	土地状況	3	第12章	関連する事業	36
第3節	水利状況	5	第13章	現況・計画図面	36
第4節	道路概況	11			
第5節	地域農業の概況	12			
第6節	地域環境の概況	15			
第4章	一般計画	16			
第1節	事業計画の要旨	16			
第2節	営農計画及び土地利用計画	16			
第3節	用水計画	20			
第4節	排水計画	24			
第5節	道路計画	27			
第6節	農用地造成計画	29			
第7節	洪水調節計画	29			
第8節	干拓計画	29			
第9節	農用地整備計画	29			
第10節	老朽ため池改修計画	30			
第5章	主要工事計画	31			
第1節	用水施設	31			
第2節	排水施設	32			
第3節	道路及び索道	32			
第4節	農用地造成	33			
第5節	洪水調節施設	33			
第6節	干拓施設	33			
第7節	農用地整備施設	33			
第8節	老朽ため池改修施設	33			

第1章 目的

本地区は、米原市の南西部に位置し、承水溝に囲まれた干拓地であり、承水溝を水源として地区内農地をかんがいしている。土壌分類は、泥炭質及び強グライ土壌で、軟弱地盤である。土地基盤整備については、昭和18～26年の干拓工事完了以降、傷みの激しい用排水路等を順次整備してきたが、干拓地特有の軟弱地盤による不同沈下や老朽化により漏水が激しく、末端までの送水が十分に行き届かず用水不足を来しているのをはじめ、支線排水路の側面や底面から細かな土砂が流出し、法面やパネルの崩壊も見られる。

今後、担い手となる中心経営体への利用集積を促進していくため、より一層の営農の省力化・効率化が求められている中で、本地区のほ場の標準区画は、20m×75mで排水不良により野菜等の転作や大型農業機械の使用が困難な状況にある。

このため、区画整理(道用排水路および区画拡大(畦畔除去)、暗渠排水の整備)により、中心経営体の効率的かつ安定的な経営の充実を図り、地域農業の持続発展に向けて、本事業を実施するものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
区画整理	滋賀県米原市入江字善積

第2節 地積

(令和7年9月現在)

(第2表)

事業名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	米原市	(〃) 66.9	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 66.9	(不可避受益5.7ha除く)
合計		(〃) 66.9	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 66.9	

第3章 現況

第1節 気象及び海象

1 一般気象

(第3表-1)

観測所名	彦根地方气象台	かんがい期	非かんがい期	計または平均	備 考
観測期間	昭和41年～平成27年	5月～9月	10月～4月		
平均気温(℃)		22.8℃	8.6℃	14.5℃	
降水量	平均(mm)	851mm	763mm	1,614mm	
	基準年(mm)	644mm	824mm	1,468mm	
降水日数	平均(日)	53日	80日	132日	
	基準年(日)	35日	82日	117日	
根雪期間		-		-日間	
無霜期間		-		-日間	
最多風向	W		最大風速(風向)	23.9m/s (WNW)	最多風向発生時期 1月～12月 最大風速発生年月日 昭和54年10月1日

2 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備 考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
彦根地方气象台																
観測期間	昭和41年～平成27年															
最大日雨量(mm)	181.0	S47. 9.16	1/145	172.0	H 2. 9.19	1/92	151.0	S46. 9. 6	1/31	126.0	H17. 7. 4	1/9	124.0	S57. 8. 1	1/8	
最大時間雨量(mm)	63.5	H13. 7.17	1/65	63.0	S46. 7. 8	1/62	54.5	S43. 8.25	1/20	49.0	H26. 8.15	1/10	47.5	S47. 9.16	1/8	
最大連続雨量(mm)	316.5	S47. 7. 9 ～ 7.15	1/23	307.5	H 2. 9.13 ～ 9.20	1/19	304.5	H 9. 7. 7 ～ 7.13	1/18	297.5	S51. 9. 7 ～ 9.14	1/15	286.5	H18. 7.15 ～ 7.21	1/12	
最大連続干天日数(日)	47	S61. 7.24 ～ 9. 8	1/45	45	S42. 5.11 ～ 6.24	1/37	42	S46.11. 1 ～12.12	1/26	39	H12. 8. 3 ～ 9.10	1/19	38	H10.10.28 ～12. 4	1/17	

3 海 象 該当なし

第2節 土地状況

1 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他							受益地標高(m)		備考		
		傾斜区分	1/1,000以下	1/1,000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計		最高	最低
											8°～10°	10°～15°	8°～15°						
区画整理	面積(ha)	(〃) 39.8	(〃) 27.1	(〃)	(〃)	(〃)	(〃) 66.9	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 83.4	(〃) 82.1	
	比率(%)	(〃) 59	(〃) 41	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 100	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -			
	面積(ha)																		
	比率(%)																		
合計	面積(ha)	(〃) 39.8	(〃) 27.1	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 66.9	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -			
	比率(%)	(〃) 59	(〃) 41	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 100	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -			

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土壌統(区)分一覽表										面積(ha)			備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土性			泥炭層 黒泥層 及びグライ層			区画整理	計	計	
					表土	下層土								
				一層	二層	三層								
泥炭質土壌強粘土型	灰褐色	なし	なし	-	SiC	SiC	LiC	作土直下	水積	ヨシ等	(〃) 47.5	(〃) 47.5	B10	
強グライ土壌強粘土斑鉄型	青灰色	なし	なし	50cm以内有	SiC	LiC	SiCL	15cm	水積	非固結水成岩	(〃) 8.4	(〃) 8.4	D31	
強グライ土壌砂礫土湧水型	青灰色	なし	60cm以内有	-	SiC	S	S	作土直下	水積	非固結水成岩	(〃) 11.0	(〃) 11.0	D37	
計											(〃) 66.9	(〃) 66.9		

- 2 土地分類 該当なし
- 3 土地利用の状況

(令和7年9月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採 草 放牧地	原 野	その他	計	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
区画整理	米原市	(66.9) 66.9	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(66.9) 66.9	
合 計		(66.9) 66.9	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(66.9) 66.9	

4 土地所有の状況

(令和7年9月現在) (第4表-4)

事業名	区分	所有別					計	備 考
		個 人 所 有	県 所 有	市 所 有	土地改良区	その他		
区画整理	面 積 (ha)	(66.9) 66.9					(66.9) 66.9	
	受益者数 (人)	(224) 224					(224) 224	
	筆 数 (筆)	(549) 504					(549) 504	
	権 利 関 係	所有権	所有権	所有権	所有権	所有権		
	備考(関係戸数)	(〃) -					(〃) -	

第3節 水利状況

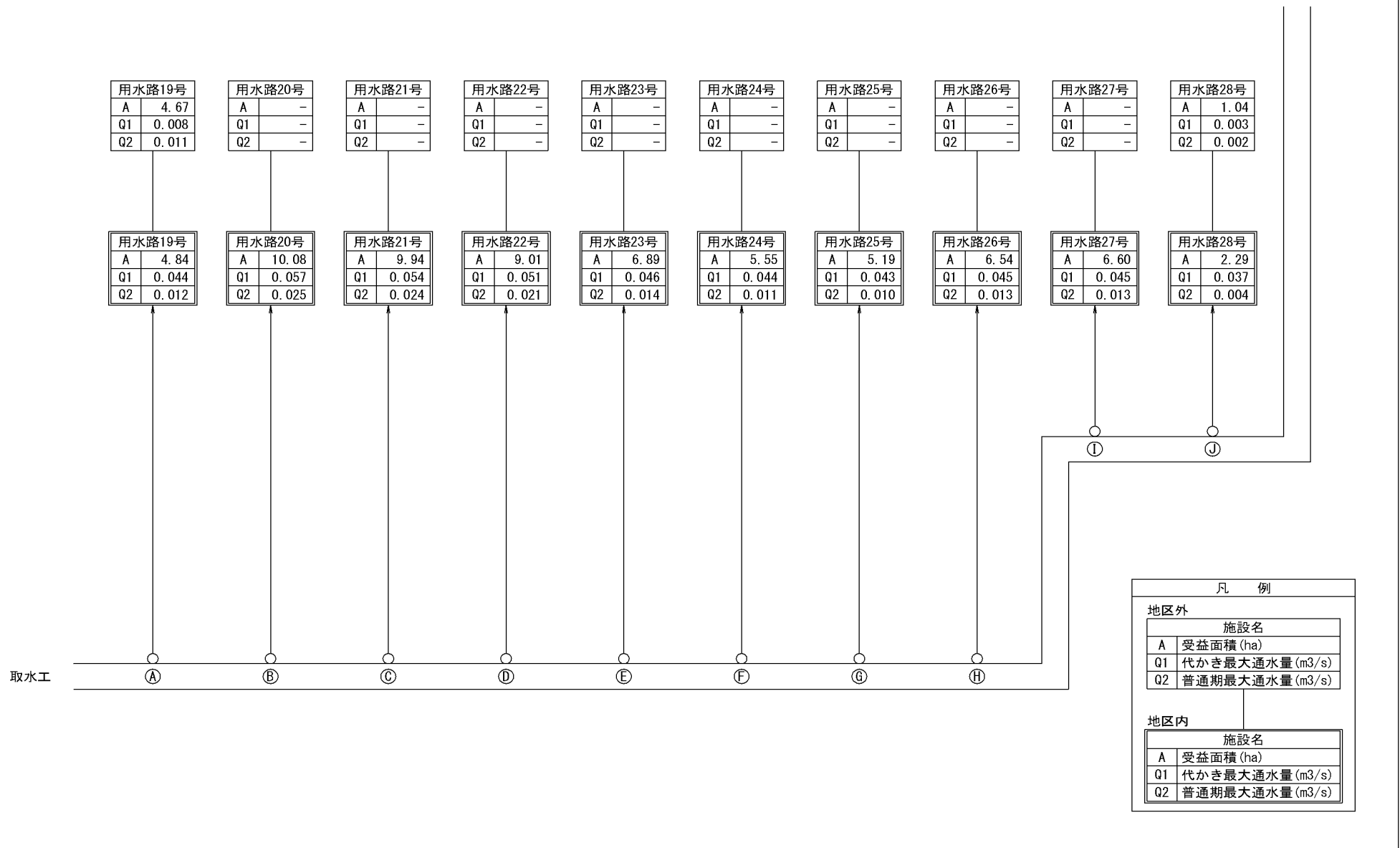
1 用水状況

承水溝に囲まれた干拓地であり、承水溝を用水源として地区内農地をかんがいしている。昭和18～26年の干拓工事完了以降、傷みの激しい用排水路等を順次整備してきたが、干拓地特有の軟弱地盤による不同沈下や老朽化により漏水が激しく、末端までの送水が十分に行き届かず用水不足を来している。

(1) 用水系統

次頁、現況用水系統模式図 参照

現況用水系統模式圖



(2) 用水施設
(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量 m ³ /s	備考
		100ha以上		100ha～30ha		30ha未満		箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s		
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
区画整理	貯水池							(〃)	(〃)						
	井堰	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(0.478)			(0.478)	
		-	-	10	66.9	-	-	10	66.9	10	0.302			0.302	
	自然取入口							(〃)	(〃)						
								-	-						
	揚水機							(〃)	(〃)						
							-	-							
その他							(〃)	(〃)							
							-	-							
計	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(0.478)			(0.478)		
	-	-	10	66.9	-	-	10	66.9	10	0.302			0.302		

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
区画整理	貯水池							
	井堰	(〃) 10	(〃) 66.9					
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	(〃) 1	(〃) 66.9	(〃) UF	(〃) 400～500	(〃) 昭和40年代	(〃) 老朽化に伴う改修	
	その他							
計	(〃) 1	(〃) 66.9						

(3) 用水に関する被害状況 該当なし

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

2 排水状況

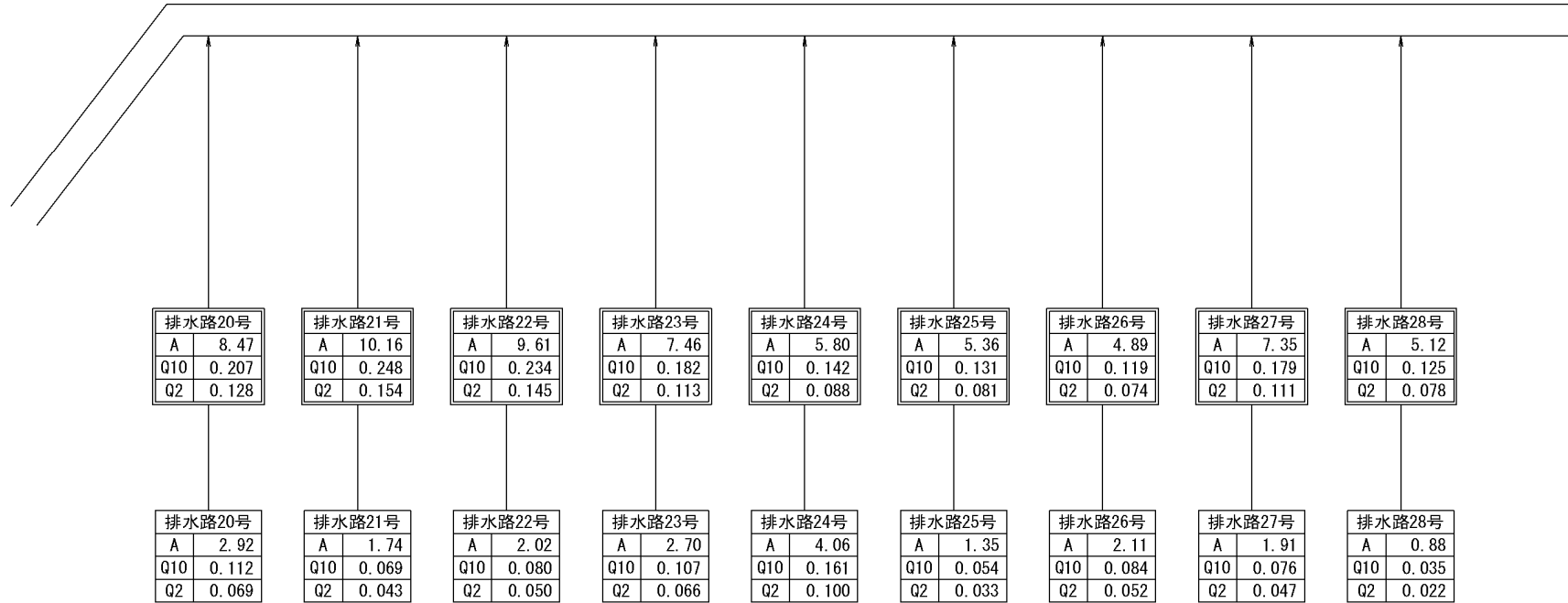
プレハブ柵工(A型・B型)により整備されているが、干拓地特有の課題として、排水機場のポンプ運転水位(L. W. L. =82.00)及び幹線排水路の水位に大きく影響を受け、降雨による水位上昇やポンプ運転による水位調整等により水位の変動が頻繁に起こる。

また、本地区は干拓地特有の泥炭質土壌及び強グライ土壌からなる軟弱地盤で、支線排水路の側面や底面からも細粒土が流出するなど、法面維持が困難な状況にあ

(1) 排水系統

次頁、現況排水系統模式図 参照

現況計画排水系統模式図



凡 例	
地区内	
施設名	
A	流域面積 (ha)
Q10	1/10確率流量 (m3/s)
Q2	1/2確率流量 (m3/s)
地区外	
施設名	
A	流域面積 (ha)
Q10	1/10確率流量 (m3/s)
Q2	1/2確率流量 (m3/s)

(2) 排水施設
 (ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計	排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考
			500ha以上		500ha～100ha		100ha未満					
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha				
区画整理	自然	排水路	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 83.9	(〃) -	(〃) 83.9		
		水門							(〃) -	(〃) -		
	機械	排水機							(〃) -	(〃) -		
		水門及び排水機							(〃) -	(〃) -		
		排水路及び排水機							(〃) -	(〃) -		
	計		(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 83.9	(〃) -	(〃) 83.9		

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目 施設名		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
区画整理	自然	排水路	(〃) 11	(〃) 64.2	(〃) プレハブ柵渠	(〃) 0.6×0.6～0.9×0.7	(〃) 昭和40年代	(〃) 流下能力低下	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
計		(〃) 11	(〃) 64.2						

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

3 河川状況 該当なし

第4節 道路概況

1 道路概況

本地区の東側を南北方向に国道8号バイパスが貫通しており、地区内には市道が存在する。農道のほとんどはアスファルト舗装されておらず、舗装されている路線についても老朽化している。

2 主要道路一覧表

(第6表)

No	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員 (m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			
	国道8号バイパス	県	10,300	26.25	26.25	アスファルト舗装	否	米原バイパス
	市道	米原市	1,546	4.5	4.0	アスファルト舗装	否	

第5節 地域農業の概況

1 産業別就業人口

(第7表-1)

市町村名	項目 総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	水熱電 道供 給業 (人)	気ガ ス 業 (人)	通運 業 (人)	小卸 売業 (人)	金 融 保 険 業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 員 (人)	そ の 他 (人)	備 考
計	19,004	571	21	15	35	1,043	5,349	70	1,139	2,297	300	175	6,592	699	698		
比率 (%)	100	3	0	0	0	5	28	0	6	12	2	1	35	4	4		

資料：令和2年国勢調査

2 経営耕地広狭別農業経営体数及び耕地の分散状況

(第7表-2)

市町村名	農 業 經 営 体 数 (經 営 体)	経営耕地広狭別農業経営体数 (経営体)														1経営体当たり平均農用地面積 (ha)					耕地の 分散状況		備 考	
		0.3 ha 未 満	0.3 ~ 0.5 ha	0.5 ~ 1.0 ha	1.0 ~ 1.5 ha	1.5 ~ 2.0 ha	2.0 ~ 3.0 ha	3.0 ~ 5.0 ha	5.0 ~ 10.0 ha	10.0 ~ 20.0 ha	20.0 ~ 30.0 ha	30.0 ~ 50.0 ha	50.0 ~ 100.0 ha	100.0 ~ 150.0 ha	150.0 ha 以 上	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	団 地 数 当 た り		面 積 当 た り (ha)
米原市	631	16	175	214	72	27	35	21	33	18	7	8	3	2	-	2.9	0.1	0.0	3.0	-	3.0	-	-	
計	631	16	175	214	72	27	35	21	33	18	7	8	3	2	0	2.9	0.1	0.0	3.0	-	3.0	-	-	
比率 (%)	100	3	28	35	11	4	6	3	5	3	1	1	0	0	0	97	3	0	100	-	100	-	-	

資料：2020年農林業センサス

3 主要家畜頭数

(第7表-3)

市町村名	主 要 家 畜										備 考
	乳 用 牛		肉 用 牛		豚		採 卵 鶏		ブロイラー		
項目	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (100羽)	経営体数 (経営体)	数量 (100羽)	経営体数 (経営体)	
米原市	-	-	-	-	x	x	-	-	-	-	「x」は秘密保護上統計数値を公表しないもの
計	-	-	-	-	x	x	-	-	-	-	
100経営体当たり 数量(頭・100羽)											
飼養経営体数 割合 (%)											

資料：2020年農林業センサス

4 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名		米原市						計	平均	作付率	備考
総耕地面積 (ha)		2,470						2,470	2,470		
総本地面積 (ha)		2,330						2,330	2,330		
作物名	区分	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	(%)	
	田	水稻	1,370	484					1,370	484	58.8
大豆		147	109					147	109	6.3	
小麦		252	223					252	223	10.8	
								-	-	-	
								-	-	-	
								-	-	-	
								-	-	-	
		小計	1,769					1,769		75.9	
畑								-	-	-	
								-	-	-	
								-	-	-	
		小計	-					-	-	-	
樹園地								-	-	-	
								-	-	-	
		小計	-					-	-	-	
計		1,769						1,769		75.9	
市町村別延べ作付率(%)		75.9						75.9			

資料：令和5年作物統計

5 農業の動向

(第7表-5)

項目	農業経営体			土地			主要作物			大家畜			地域指定等	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	農業経営体数	72	50	耕地	101	99	水稲	98	93	乳用牛	-	-	農業振興地域 〈旧米原町〉 指定 S47.10 許可 S48.11	A:令和2年 (農林業センサス) B:平成27年 (農林業センサス) C:平成22年 (農林業センサス)
	個人経営体数	72	49	田	102	100	小麦	108	102	肉用牛	-	-		
	団体経営体(法人)数	133	217	畑	83	62	大豆	102	89	豚	-	-		
	団体経営体(非法人)数	75	50	樹園地	110	50				採卵鶏	-	-		
										ブロイラー	-	-		
変化の理由	他産業の収益増大による農業労働力の流出により農業経営体数は減少となっている。一方で、団体経営体(法人)数は増加している。			農地の宅地等への転用により、耕地面積が減少している。			転作割合の増加による。			統計データに秘匿や事実がないものがあり、把握困難。				

資料：2020, 2015, 2010年 農林業センサス、作物統計

「-」…統計数値の非公表等で、変化の状況把握ができないもの

第6節 地域環境の概況

1 自然環境

当地区は、かつて入江内湖と称し南は松原内湖と接した面積約300haの風光明媚な湖沼であった。戦中から戦後にかけて、食糧増産を目的に琵琶湖干拓事業が各地で行われたが、その最初の地区として、昭和19年に農地開発営団により工事が始まった。承水路や用排水施設が整備され、昭和25年に256haが干陸化し新たな農地が造成された。しかし、ほとんどの施設が軟弱地盤上に築造されており、年月の経過とともに老朽化が進行している。

野生生物は、平野部の河川や耕地には、カエルなどの両生類、ヘビなどのハ虫類などがみられる。植生についてはほぼ全域が水田雑草群落によって形成されている。

2 社会環境・地域指定

土地利用に関する指定地域として、旧米原町全域が都市計画法による彦根長浜都市計画区域に指定されている。また集落部分を除く干拓地域全体が農業振興地域に指定されており、そのうち農用地等に適している土地で特に農業振興面から確保すべきものとして農用地区域を設定し、各地域の実情に応じた農業振興施策を展開している。

3 生活環境

該当なし

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1 要旨

計画地区は、施設の老朽化が激しく、用水路は破損の影響による安定的な用水確保が困難な状況にあり、排水路についても老朽化が著しく、水田の水管理に支障をきたすとともに乾田化の障害となっている。現状では、労働時間の短縮などの経営の効率化を望む担い手が求める農地となっていないことから、本事業の目的でもある担い手への農地の利用集積を図るため、経営体育成基盤整備事業を実施する。

2 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分	区画整理																		計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	道水路等 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	道水路等 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	道水路等 (ha)	小計 (ha)		
事業目的	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)													(〃)	
区画整理	66.9	-	-	-	-	66.9													66.9	
計	66.9	-	-	-	-	66.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.9	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1 営農計画の概要

農地の利用集積による大型機械の導入、用排水路の整備、区画拡大、暗渠排水整備等により耕地の生産性を向上し、機械化一貫体系を確立して水稲を中心に小麦、大豆を取り入れた複合輪作体系を促進し、担い手農家の育成を図る。

2 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
区画整理	現況	(〃) 66.9	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 66.9	(〃) -	(〃) -	(〃) 5.7	(〃) 72.6	
	計画	(〃) 66.9	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 66.9	(〃) -	(〃) -	(〃) 5.7	(〃) 72.6	
計	現況	(〃) 66.9	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 66.9	(〃) -	(〃) -	(〃) 5.7	(〃) 72.6	
	計画	(〃) 66.9	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 66.9	(〃) -	(〃) -	(〃) 5.7	(〃) 72.6	

3 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
区画整理	現況	水田	水稻				○	△	—	—	×	×							○	△	—	—	×	×																○—○ 播種
			大豆						○	—	—	—	×								○	—	—	—	×														△—△ 移植	
			(小麦)						×				○	—	—	—	×					○	—	—	—	×													□—□ 定植	
			(たまねぎ)					×	×			○	—	—	—	×	×					○	—	—	—	×	×												×—× 収穫	
			(にんにく)					×	×			□	—	—	—	×	×					□	—	—	—	×	×													
	計画	水田	水稻				○	△	—	—	×	×									○	△	—	—	×	×														
			大豆						○	—	—	—	×									○	—	—	—	×														
			(小麦)						×				○	—	—	—	×					○	—	—	—	×														
			(たまねぎ)					×	×			○	—	—	—	×	×					○	—	—	—	×	×													
			(にんにく)					×	×			□	—	—	—	×	×					□	—	—	—	×	×													

4 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考		
	地目名	作物名	現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加			
区画整理	水田	表作	水稻	(60.7) 59.3	(60.7) 59.3	(-) -	(96.7) 96.7	(96.7) 96.7	(491) 490	(520) 519	(29) 29	(298.0) 290.6	(315.6) 307.8	(17.6) 17.2	(-) -	(17.6) 17.2		
			大豆	(2.1) 2.0	(2.1) 2.0	(-) -	(3.3) 3.3	(3.3) 3.3	(111) 118	(111) 118	(-) -	(2.3) 2.4	(2.3) 2.4	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
			小計	(62.8) 61.3	(62.8) 61.3	(-) -	(100.0) 100.0	(100.0) 100.0										
		裏作	小麦	(2.1) 2.0	(2.1) 2.0	(-) -	(3.3) 3.3	(3.3) 3.3	(209) 236	(209) 236	(-) -	(4.4) 4.7	(4.4) 4.7	(-) -	(-) -	(-) -	(-) -	
			たまねぎ	(0.5) 0.5	(2.0) 2.0	(1.5) 1.5	(0.8) 0.8	(3.2) 3.3	(2,284) 2,366	(2,284) 2,366	(-) -	(11.4) 11.8	(45.7) 47.3	(34.3) 35.5	(34.3) 35.5	(-) -	(-) -	
			にんにく	(0.1) 0.1	(0.2) 0.2	(0.1) 0.1	(0.2) 0.2	(0.4) 0.4	(486) 232	(486) 232	(-) -	(0.5) 0.2	(1.0) 0.5	(0.5) 0.3	(0.5) 0.2	(-) 0.1	(-) 0.1	
			小計	(2.7) 2.6	(4.3) 4.2	(1.6) 1.6	(4.3) 4.3	(6.9) 7.0										
		計			(65.5) 63.9	(67.1) 65.5	(1.6) 1.6	(104.3) 104.3	(106.9) 107.0									
		普通畑	春夏作															
	小計		(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -											
	秋冬作																	
	小計	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -												
	計			(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -										
	合計			(65.5) 63.9	(67.1) 65.5	(1.6) 1.6	(104.3) 104.3	(106.9) 107.0										

※作付面積は本地面積

5 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目		作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備 考	
	土地利用区分	作物名		区 分	現 況	計 画	増 減		
区画整理	水田	水稻 (大規模)	(32.7)	人 力	(16.8)	(15.5)	(△1.3) -		
				機械力	(7.4)	(6.3)	(△1.1) -		
		水稻 (個別)	(28.0)	人 力	(18.5)	(16.9)	(△1.6) -		
				機械力	(8.4)	(7.1)	(△1.3) -		
		小麦	(2.1)	人 力	(6.9)	(5.9)	(△1.0) -		
				機械力	(4.0)	(3.6)	(△0.4) -		
		大豆	(2.1)	人 力	(6.7)	(5.3)	(△1.4) -		
				機械力	(4.0)	(3.0)	(△1.0) -		
		たまねぎ	(2.0)	人 力	(68.2)	(61.0)	(△7.2) -		
				機械力	(47.4)	(40.9)	(△6.5) -		
		にんにく	(0.2)	人 力	(167.4)	(162.8)	(△4.6) -		
				機械力	(12.9)	(10.8)	(△2.1) -		
		小 計		(67.1) -					
小 計									
合 計		(67.1) -							

6 級地別土地利用区分

該当なし

7 土地配分計画

該当なし

第3節 用水計画

1 計画基準年 昭和54年

2 計画かんがい方式

(1) 水田 低水圧パイプライン

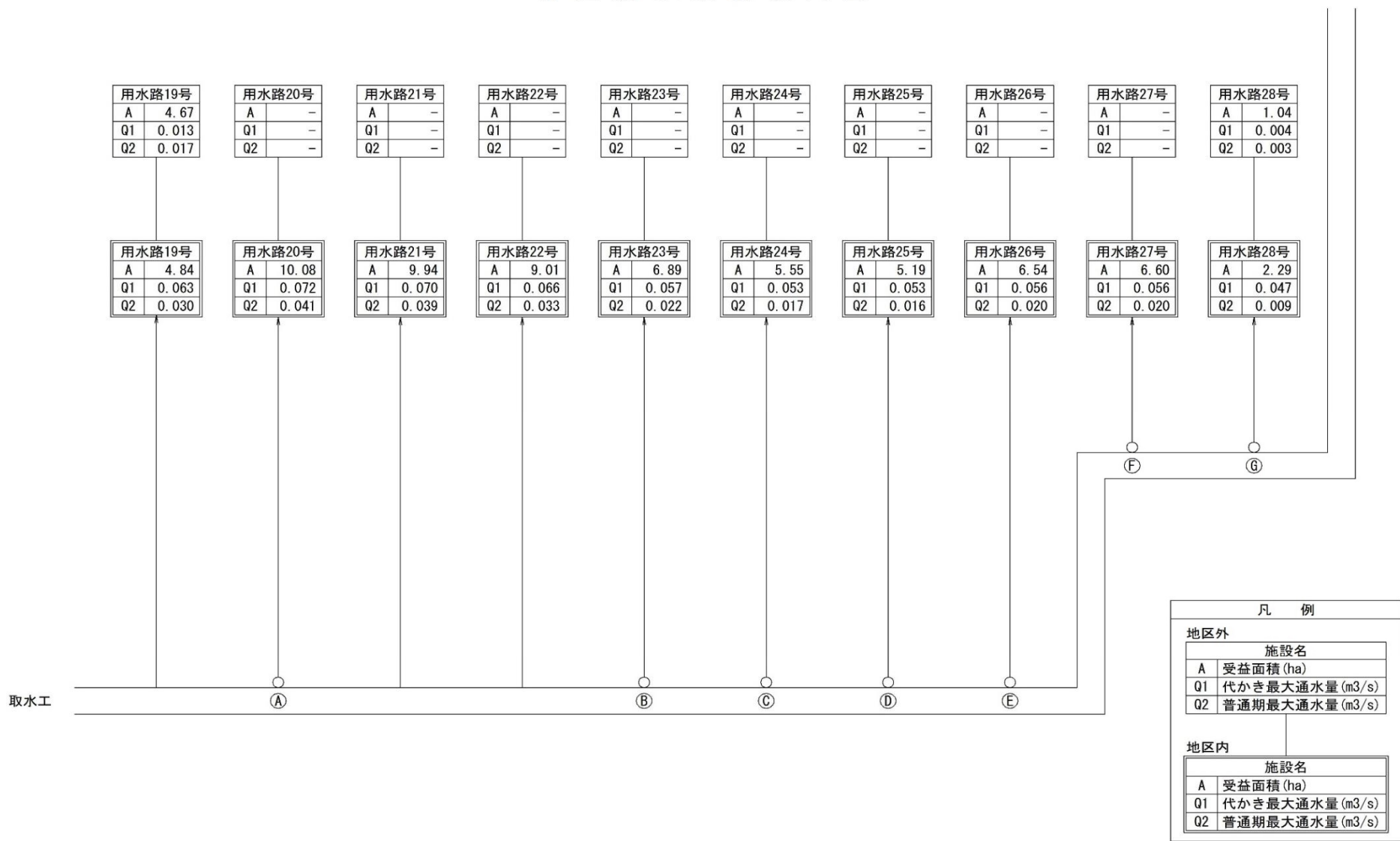
項目 作付	代かき期間	かんがい期間	備 考
早 植	4月24日 ~ 5月5日 (12日)	5月6日 ~ 9月30日 (148日)	

(2) 畑 (輪換畑) うね間かんがい

3 計画用水系統

次頁、計画用水系統模式図 参照

計画用水系統模式図



4 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m ³ /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
		事業名			普通期	代かき期	面積 (ha)	平1 均日 か当 たり 水深 計画	平均 間断 日数	面積 (ha)	平一 均日 か当 たり 水深 計画	平均 間断 日数	面積 (ha)	計単 画位 平均 水量	面積 (ha)			平均	最大	
		区 画 整 理	計		単 計 位 画 用 平 均 水 量 (mm/日)	単 計 位 画 用 代 か き 水 量 (mm)		(mm/日)	(日)		(mm/日)	(日)		(mm/日)						
承水溝	農業 用水	(〃) 66.9	(〃) 66.9	(10.8~ 25.4) 17.6 ~45.4	(120.0) 150.0	(〃) 64.7	(〃) 2~5	(〃) 5	(〃) 2.2	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) -	(〃) 10			(0.200) 0.302		
計		(〃) 66.9	(〃) 66.9																	

(2) 営農飲雑用水 該当なし

5 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

区分	項目	現況利用可能水量				不足水量		水源依存量		水源工種	備考										
		消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	水源名	取水地点 利用可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量			全不足 水量	水源名	水量							
		a (千m3)	b (千m3)	c=a-b (千m3)	d=c/(1-α) (千m3)	e (千m3)	f (千m3)	g=c-f (千m3)	h=d-e (千m3)			(千m3)	損失率: α = 0.10								
区 画 整 理	代かき期	(17.3) 26.1	(-) -	(17.3) 23.5	(19.2) 26.1																
	普通期	(11.2) 20.8	(-) -	(11.2) 18.7	(12.4) 20.8																
	計	(28.5) 46.9	(-) -	(28.5) 46.9	(31.7) 52.1																

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 該当なし

(イ) 井堰及び自然取入口 該当なし

(ウ) 揚水機 該当なし

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m^3/s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名						
	区画整理		計				
支線用水路	(//) 66.9		(//) 66.9	(0.005~0.050) 0.006~0.072	(6.199) 5.970	(VU ϕ 150~300) VU ϕ 150~350	(//) 動水勾配 0.105~0.601%
計	(//) 66.9		(//) 66.9		(6.199) 5.970		

(オ) その他の水源施設 該当なし

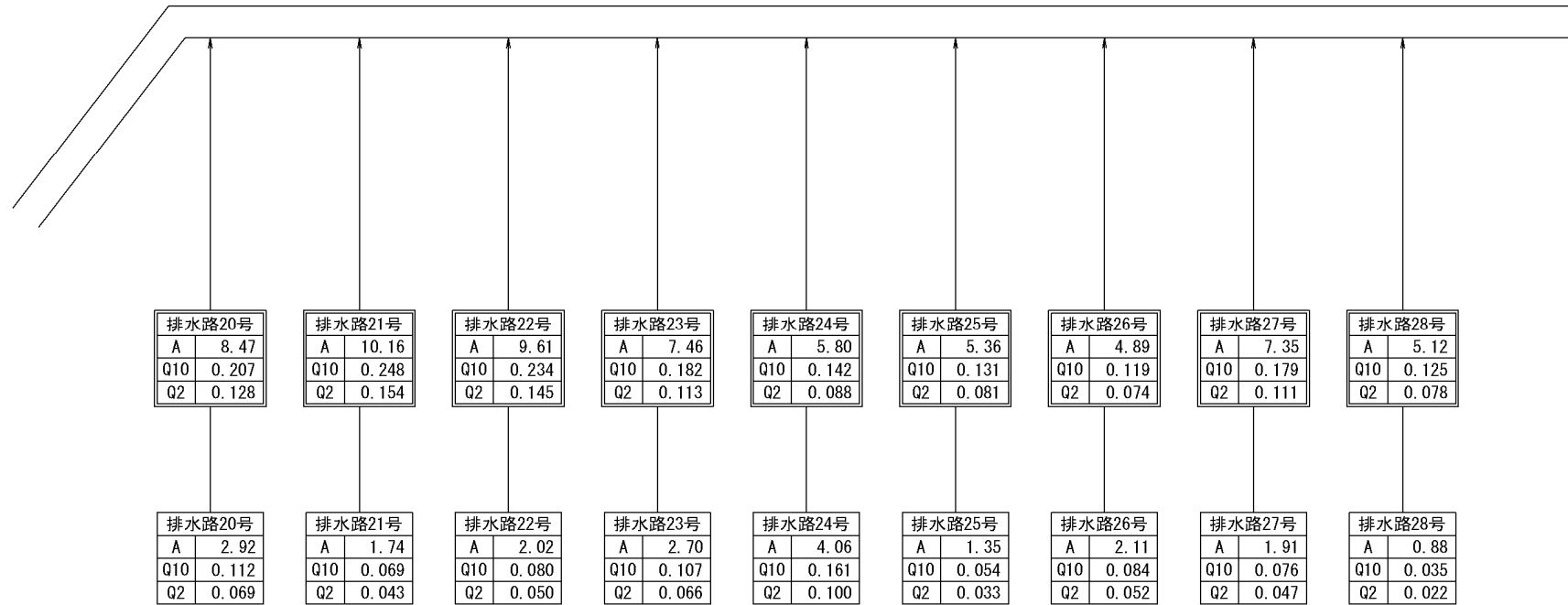
(3) 水温水質 該当なし

第4節 排水計画

- | | | | |
|---|--------|------|-------------------|
| 1 | 計画基準雨量 | 日雨量 | 160mm/24h (1/10年) |
| 2 | 計画排水方式 | 自然排水 | |
| 3 | 計画排水系統 | | |

次頁、計画排水系統模式図 参照

現況計画排水系統模式図



凡 例	
地区内	
施設名	
A	流域面積 (ha)
Q10	1/10確率流量 (m3/s)
Q2	1/2確率流量 (m3/s)
地区外	
施設名	
A	流域面積 (ha)
Q10	1/10確率流量 (m3/s)
Q2	1/2確率流量 (m3/s)

4 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (km ²)		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備考
	事業名			山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
	区画整理		計									自然排水	機械排水			
支線排水路	(//) 64.2		(//) 64.2	(//) 0.195	(//) 0.644	(//) 160	(//) 3.06	(//) 2.44	(//) -	(//) -	(//) 0.597	(//) 1.571	(-) -	(//) 3.06	(//) 2.44	
計	(//) 64.2		(//) 64.2	(//) 0.195	(//) 0.644	-	-	-	-	-	(//) 0.597	(//) 1.571	(-) -	(//) 3.06	(//) 2.44	

5 排水対策

- (1) 排水水門 該当なし
- (2) 排水機 該当なし
- (3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名						名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		区画整理		計							
支線排水路	(//) 0.839	(//) 64.2		(//) 64.2	(//) 0.02~0.319	(5.057) 4.005	(//) プレハブ柵渠	(//) 幹線排水路	(//) 2.603	(//) 82.70	
泥溜工											
計	(//) 0.839	(//) 64.2		(//) 64.2		(5.057) 4.005					

- (4) その他 該当なし
- 6 たん水検討 該当なし

第5節 道路計画

1 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名	項目	幅 (有効) × 延長 (m) (km)	構造	既設道路との関係	備考
支道 4号		4.0 (3.0) × (0.7196) 0.7660	(敷砂利舗装) As舗装		
支道 5号		4.0 (3.0) × (0.0757) 0.0750	(〃) 敷砂利舗装		
支道 6号		4.0 (3.0) × (0.3213) 0.3205	(〃) 敷砂利舗装		
支道 7号		4.0 (3.0) × (1.4249) 1.4949	(〃) 敷砂利舗装		
支道15号		4.0 (3.0) × (0.7496) 0.7120	(〃) 敷砂利舗装		
支道16号		4.0 (3.0) × (0.7423) 0.7132	(〃) 敷砂利舗装		
支道17号		4.0 (3.0) × (0.6195) 0.4100	(〃) 敷砂利舗装		
支道18号		4.0 (3.0) × (0.4289) 0.4194	(〃) 敷砂利舗装		
支道19号		4.0 (3.0) × (0.3433) 0.3930	(〃) 敷砂利舗装		
支道20号		4.0 (3.0) × (0.5506) 0.5393	(〃) 敷砂利舗装		
支道21号		4.0 (3.0) × (0.4179) 0.4054	(〃) 敷砂利舗装		
支道22号		4.0 (3.0) × (-) 0.4963	(-) As舗装		
連道 1号		4.0 (3.0) × (0.1538) 0.1530	(〃) 敷砂利舗装		
連道 2号		4.0 (3.0) × (0.4358) 0.4266	(〃) 敷砂利舗装		
連道 3号		4.0 (3.0) × (0.4463) 0.4417	(〃) 敷砂利舗装		
連道 4号		4.0 (3.0) × (0.4578) 0.3870	(〃) 敷砂利舗装		
計		(7.8873) 8.1533			

(2) 索道

該当なし

2 路線配置図



第6節 農用地造成計画 該当なし

第7節 洪水調節計画 該当なし

第8節 干拓計画 該当なし

第9節 農用地整備計画

1 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
75 × 60	0.45	(57.1) 57.1	(86.5) 87.3	(0.0~0.3) 0.0~0.3	
75 × 40	0.30	(8.9) 8.3	(13.5) 12.7	(0.0~0.3) 0.0~0.3	
計		(66.0) 65.4			

(2) 表土扱い 該当なし

(3) 末端道水路配置図 該当なし

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

区 分	面 積 (ha)			土 壤 統 (区) 分	基 準 雨 量 (mm/日)	単 位 排 水 量 ($\frac{l}{s}/ha$)	計 画 後 の 地 下 水 位 (m)	集 水 渠 出 口 以 下 の 排 水 方 式	備 考
	事 業 名								
	暗渠排水工		計						
暗渠排水	(47.5)		(47.5)	(//)	(//)	(//)	(//)	(//)	
	46.0		46.0	B10	30	3.5	0.5	自然排水	
暗渠排水	(//)		(//)	(//)	(//)	(//)	(//)	(//)	
	8.4		8.4	D31	30	3.5	0.5	自然排水	
暗渠排水	(//)		(//)	(//)	(//)	(//)	(//)	(//)	
	11.0		11.0	D37	30	3.5	0.5	自然排水	
計	(66.9)		(66.9)						
	65.4		65.4						

(2) 心土破碎 該当なし

3 客土 該当なし

4 農地保全 該当なし

第10節 老朽ため池改修計画 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

- 1 貯水池 該当なし
- 2 頭首工 該当なし
- 3 揚水機 該当なし
- 4 用水路

(第17表-4)

水路名	かんがい面積 (ha)			通水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名				開きよ	トンネル その他	計				
	区画整理		計								
支線用水路	(//)		(-)	(0.005~0.050)	(-)	(6.199)	(6.199)	(VUφ150~300)	(//)		(不可避受益 5.7ha除く)
	66.9		66.9	0.006~0.072	-	5.970	5.970	VUφ150~350	動水勾配 0.105~ 0.601%		
計	(//)		(-)		(-)	(6.199)	(6.199)				
	66.9		66.9		-	5.970	5.970				

- 5 その他かんがい施設 該当なし

第2節 排水施設

- 1 排水水門 該当なし
- 2 排水機 該当なし
- 3 排水路

(第18表-3)

水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名				開きよ	トンネル その他	計				
	区画整理		計								
支線排水路	(〃) 64.2		(〃) 64.2	(〃) 0.02~0.319	(4.268) 4.005	(0.789) -	(5.057) 4.005	(〃) プレハブ柵渠	(〃) 1/300~1/3000		
計	(〃) 64.2		(〃) 64.2		(4.268) 4.005	(0.789) -	(5.057) 4.005				

- 4 その他排水施設 該当なし

第3節 道路及び索道

1 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

区分	路線名	幅 (有効) (m) ×延長 (km)	構造	付帯構造物			最急こう配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	数量 (箇所)				
支線道路	-	(7.8873) 4.0 (3.0) × 8.1533	(敷砂利舗装) 敷砂利舗装舗装、As舗装	(横断工) -	(BOX) -	(28)	(-) -	(-) -	(-) -	
		(7.8873) 8.1533								

- (2) 道路主要構造物 該当なし

- 2 索道 該当なし

第4節 農用地造成 該当なし

第5節 洪水調節施設 該当なし

第6節 干拓施設 該当なし

第7節 農用地整備施設 該当なし

1 区画整理 該当なし
 (1) 区画整理

(第23表-1)

工区名	面積 (ha)		整地工		表土扱い		備考
			標準区画	土量 (m3)	面積 (ha)	土量 (m3)	
入江善積	(66.0)		(〃)	(11,509)	(66.0)		
	65.4		70m×60m、70m×40m		65.4	-	
計	(66.0)			(11,509)	(66.0)	(-)	
	65.4			-	65.4	-	

(2) 末端用水路等 該当なし

(3) 末端排水路等 該当なし

2 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

区分	面積 (ha)			集水渠				排水渠						集水渠出口以下の排水施設			備考
	事業名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
	区画整理		計														
入江善積	(66.9)		(66.9)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)
	65.4		65.4	1/300	VU	65~100	12	1/300	有孔PE	60	0.7	10	1,000	支線排水	プレハブ柵渠	-	
計	(66.9)		(66.9)														
	65.4		65.4														

(2) 心土破碎 該当なし

3 客土 該当なし

4 除礫 該当なし

5 農地保全 該当なし

第8節 老朽ため池改修施設 該当なし

第6章 附帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

	(令和 〃年度)
着 手	令和 3年度
	(令和 7年度)
完了予定	令和 12年度

第8章 環境との調和への配慮

1 整備上の配慮等事項

- ・ 保全対象生物の生息は、工事を行わない幹線排水路において確認または想定されたことから、工事前と同様に、支線排水路と幹線排水路との連続性を維持することにより、生息場所の確保を図る。
- ・ 工事を魚類の産卵が少ない非かんがい期に行うことで、濁水流出の影響を最小化する。
- ・ 琵琶湖の環境を保全するため、一筆排水に排水調整の塩ビ板を設置して濁水の流出防止を図る。
- ・ 干拓地全域において従来から循環かんがいをしており、今後も濁水の流出防止を図る。
- ・ 用水路を開水路から管水路に更新することで、無効放流を無くし、用水の有効利用を図る。

2 施行上の配慮等事項

- ・ 工事施工にあたっては、支線・幹線排水路のつながりを維持することで、生息場所を確保する。

第9章 換地計画の概要 該当なし

第10章 事業費の総額及び内訳

(第26表)

区分	事業名	区画整理 (千円)	備 考
整地工		(61,200) 75,000	
道路工		(92,700) 169,000	
用水路工		(232,700) 591,000	
排水路工		(240,000) 305,000	
暗渠排水工		(174,400) 212,000	
純工事費計		(801,000) 1,352,000	
測量試験費		(52,000) 60,420	
用地補償費		(50,000) 159,580	
計		(903,000) 1,572,000	
工事雑費		(9,000) 15,000	
事務費		(36,000) 62,000	
合 計		(948,000) 1,649,000	

第11章 効用

(第27表)

事業名	区分	項目	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備 考
区 画 整 理	作物生産効果		(35,630)	(40,034)	
			47,010	47,448	
	営農経費節減効果		(19,995)	(24,068)	
			33,453	37,037	
	維持管理費節減効果		(△1,935)	(△991)	
			△1,987	△873	
	耕作放棄防止効果		(6)	(-)	
		5	-		
国産農産物安定供給効果		(5,032)	(-)		
		10,888	-		
計		(58,728) 89,369	(63,111) 83,612		

<参考> 総便益額： (1,132,823)
1,971,091 千円

第12章 関連する事業

該当なし

第13章 現況・計画図面

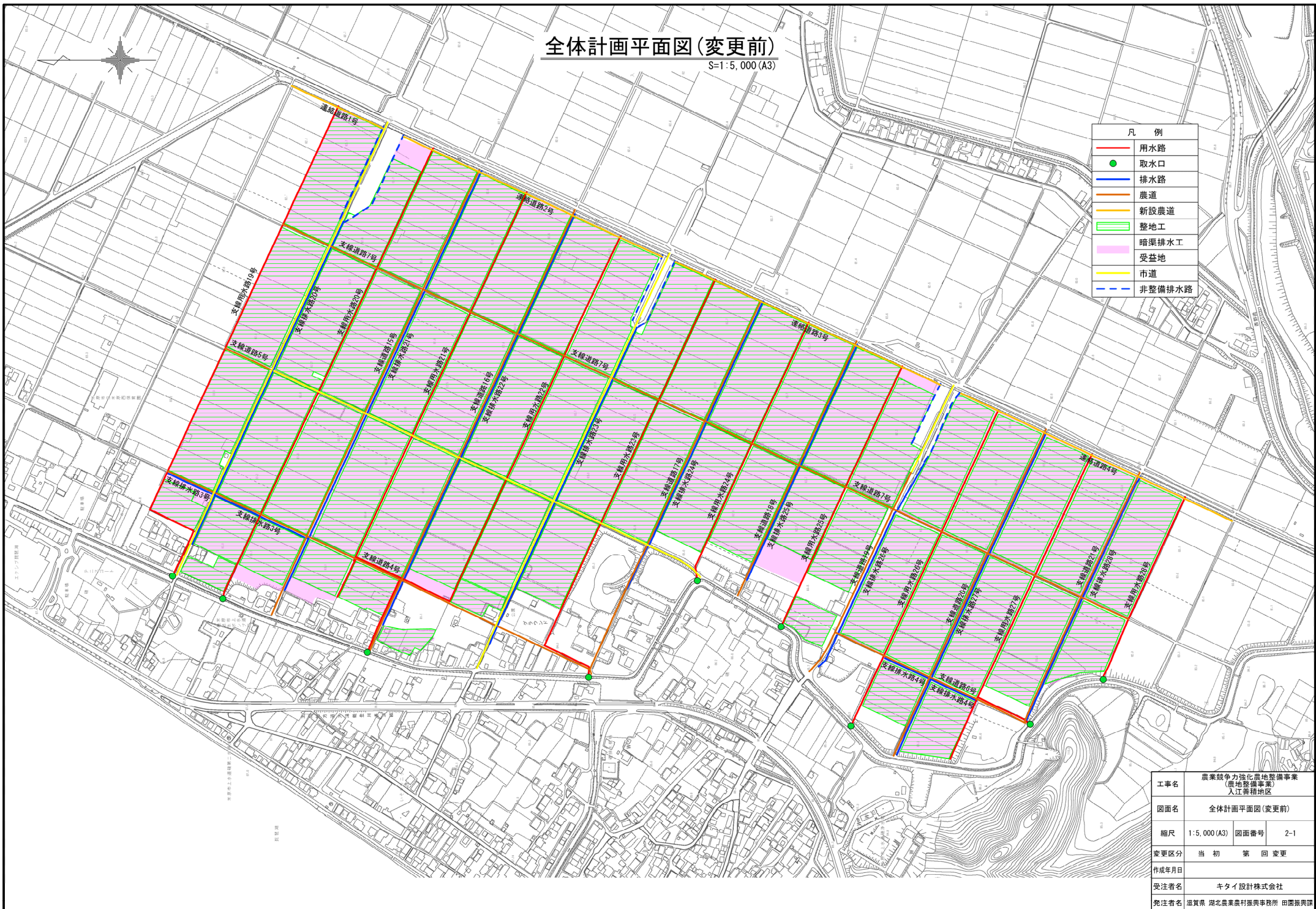
1 現況計画平面図

別添のとおり

全体計画平面図(変更前)

S=1:5,000(A3)

凡 例	
	用水路
	取水口
	排水路
	農道
	新設農道
	整地工
	暗渠排水工
	受益地
	市道
	非整備排水路



工事名	農業競争力強化農地整備事業 (農地整備事業) 入江善穂地区		
図面名	全体計画平面図(変更前)		
縮尺	1:5,000(A3)	図面番号	2-1
変更区分	当初	第 回	変更
作成年月日			
受注者名	キタイ設計株式会社		
発注者名	滋賀県 湖北農業農村振興事務所 田園振興課		

